

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

2

2019 No.773

3 はじめの言葉

4 GAFA パワーで

世界の情報マネーが米国に

田原文夫

「情報に価値を認める／認められる」ことが強烈なエビデンスとなる社会。それが情報社会だと呼称される時代である。1929年、世界中の金／マネーが一極アメリカに集中したことが、当時の世界全体のマネーバランスを崩壊させた。世界大恐慌を引き起こした原因だった。一人勝ちした当時のアメリカがそれで幸せだったかという、そうでもなかった。まさに「世界の中でのアメリカ」であることの証明だった。それ以上の国外からのマネー獲得が不可能と悟った当時の政権は、自国内での金回り策を発動した。ニューディール政策として知られる。情報＝金／マネーという観点からいうと、再び今現在、GAFAによって世界中のマネーが、アメリカに集められてしまっている。不具合を感じたトランプ大統領は、内需策ではなく、更なら外貨稼ぎ政策の強化で乗り切ろうとしている。アメリカファーストの本質である。

10 情報社会を考える その101

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

全体最適システム論

全体最適論から観た個の存在の在り方からすると、限りなく個の希望／要望を抑制しなくてはならないケースが出てくる。鳥瞰俯瞰的な観点からの分別をもって臨むということである。企業内でのシステム展開をする場合に、部門／課レベルのシステム化ニーズよりも全社レベルのニーズを優先させる考え方である。こうした企業全体の構成員同士の了解がもたらす効果は大きい。社内コンセンサスがあってはじめてスムーズなシステム構築／運用が実現される。かつての企業内情報システム開発に着手するに当たって、システム部門が最大の注力したポイントが、ここだった。

12 デジタルガバメント DG13

デジタル政府の展開 その13

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガバメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 9 連載 アーキテクチャ論 (94)

デジタル変革と適応型 EA

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

デジタル変革 (DX、Digital Transformation) は、何のためにあるのか? DX はデジタルエンタープライズ (Digital Enterprise、DE) を実現するための手段である。DX のための DX には意味がない。次の課題は、「DX によって DE をどのように構築すればいいのか?」ということになる。そのためにエンタープライズアーキテクチャが必要になる。本稿では、DX と DEA について説明する。

まず、DEA (Digital Enterprise Architecture、DEA) の基礎となる ESARC について説明する[2]。次いで、ESARC に基づく DEA 構成例について述べる。さらに、マイクロサービスアーキテクチャと適応型 EA についても紹介する。

2 8 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第 17 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社(社員)レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経/血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 5 IT新時代とパラダイム・シフト

第 111 回 訪日観光客向けの

自販機サービスの確信とその背景

根本忠明

訪日観光客数が 3000 万人の大台を達成し、急増する訪日観光客へのサービス対応が問われている。世界に誇る日本の自販機も、例外ではない。全国各地の自販機で、多言語表示、WiFi サービス、スマホ決済などによるインバウンド・サービスが始まり、その成否が問われている。この背景には、2000 年代に入り国内の自販機ビジネスが、大きく停滞している事情がある。現在、自販機ビジネスの再生と革新が、問われている。

3 7 続インテリジェンスへのいざない 108

日韓問題での駄目は駄目、無理は無理

今井 武

揺れる日韓

いろいろな問題がある中で同盟関係にあると信じてきた韓国との関係が、かつてないほど、危機的な状況になっている。ぎくしゃくしている、などというレベルではない。そんな折、サラリーマン川柳で「おれ正論 妻へりくつ なぜ勝てぬ」を聞いて思わず苦笑いしてしまった。「おれ」も「妻」も、ともに自分こそ正論を言っていると考えながらも、夫婦間コミュニケーションは見事にすれ違っており、どうしたらいいものかと四苦八苦ししている夫婦の様を思い浮かべたからだ。

3 9 新連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまちヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EHCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門からできない
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係と	データウェアハウスサポート
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第八章 データウェアハウスの構築と
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・	データ移行ツール
リレーショナル・モデル	第九章 データウェアハウスの利用と
第五章 正則化の問題点とデータウェアハウス	エンドユーザーツール
第六章 データウェアハウス管理システム	第十章 データウェアハウスの保守と
	オートメーション

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEHCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 CodeベースによるOLAPプログラムの	第九章 多次元データベースとアプリケーション
評価ツール	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第四章 分析集積の歴史	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 331頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動とピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動とピクセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マテリアル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KLEZの蔓延と国家記録
第二章 aism情報セキュリティ研究会の発足	第十二章 メールが騙かGLI
第三章 認知される電子署名方式の基本論	第十三章 仮想ネットワークのための
第四章 署名を拒められたCodeRedワーム	第十四章 第五のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 日方ハッカーの攻撃と情報セキュリティ
第六章 情報漏洩対策	対応
第七章 WWW(バーチャル・グローバル・ネットワーク)	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第八章 aismの2002年度の事業活動	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第九章 情報セキュリティ研究会発足の発見と課題	第十八章 ネット「お祭り」作戦にあたっての
第十章 インターネット関連の脅威と不正アクセス	ノウハウ

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム監査	第八章 変革対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 分散式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)
A5版 280頁

加藤洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広域ビジネスの経営条件	■ 売玉も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも決めるも広報が窓口
■ 文字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のタイミング	<付> 記事と向き合う十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
—IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本銀行法の思い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米岡チーム編組の軌跡
第三章 新しシステムへの働き	第十三章 新しな陣っ
第四章 WDCに向けて	第十四章 米岡チーム編組と新たな戦い
第五章 F&C、IBM競争	第十五章 国際フル編組と「リンクアップ」
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本銀行編組と本業継続日程
第八章 米岡チーム立ち上げの遅れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 探訪その一 直前、直後の苦しみ
第十章 米岡チーム、勝たぬ三人数	第二十章 探訪その二 安定稼働と北米センター稼働

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp